

# いきいき

Ikiiki tu-shin

## 通 信

# 夏 号

(7、8、9月号)

Vol.167

### ■ご長寿のお祝い「上林地区敬老会」が開催

9月15日(日)、上林小・中一貫校で「上林地区敬老会」が開催されました。昨年度から奥上林・中上林の合同開催となり、今回、140名のお年寄りの方々が児童・生徒45名との触れ合いを楽しみました。

奥上林地区・中上林地区合は、傘寿(80歳)を迎えられた方が27名、同じく米寿(88歳)を迎えられた方が50名、そして白寿(99歳)を迎えられた方が3名と、素晴らしい健康長寿の地域となっています。

冒頭、山崎副市長は「皆様方が住み慣れた地域で暮らしていただけるよう、上林出張所の24時間体制整備や防犯カメラ設置など、官民一体となった安全・安心の取組のほか、市としても医療・介護・福祉サービスの一体的提供を推進し、「支えあい 安心して暮らせる まちづくり」に取り組んでまいります。」と祝辞を述べました。

その後一貫校児童・生徒によるお祝い発表として、太鼓発表、作文発表があり、「じゃんけん交流」でお年寄りとお小・中学生らが交流しました。

最後には上林の歴史や自然、地域の方々を大切にしたい思いを歌詞に込めた「ふるさと上林」の合唱など、心あたたまるプログラム内容でした。

その後の余興では、フラメンコやコーラス、民謡のほか、上林太鼓保存会による「上林太鼓」が演奏され、見事なバチさばきが披露されました。

参加者は、「今日は子ども達との触れ合いを楽しみに来させてもらった。普段の生活の中では子ども達と触れ合う機会も中々なく、今日は参加できて嬉しかった。太鼓も上手で感激した」と笑顔で話されていました。



「ふるさと上林」を披露する小・中学生

### ■奥上林に「関係人口(※)」を呼びこむ新たな活動がスタート

(※定住せずとも地域を積極的に支える人のこと)

9月10日(火)、奥上林地区の観光事業として森の京都を推進する実働部隊「森の京都・奥上林(仮称)」が、第1回会合を実施しました。これは「森の京都」として奥上林を広くPRし、来訪者増加のための取組を中心的に担う部隊として結成されたものです。昨年6月から自治会長会を通じて呼びかけをし、現在は有志7名と、地域支援に取り組む「里の公共員」の工忠照幸さんにより構成されています。(中面に続く)

奥上林地区では平成28年3月「京都丹波高原国定公園」に奥上林の一部が指定されて以降、国宝二王門・釣り鐘堂修復や見学会開催など、奥上林地区の観光資源の充実・活用が図られています。

今年度は奥上林地区出身者約700名に二王門や奥上林の情報を送付するほか、奥上林地区のホームページ(整備中)内に交流サイトが設置されます。

活動の中心を担う奥上林地域振興協議会の熊内久志会長は、「ふるさと奥上林を見つめ直す機会を生み出し、今一度、目と足を奥上林に向けていただきたい。交流を通じ、奥上林を応援して下さる支援者を発掘しつつ、最終的には定住に繋がるよう頑張りたい。より活動を充実すべく、実働部隊にご協力いただける方も継続して募りたい。」と思いを述べられています。

来年度以降は取組を更に発展させ、他の水源の里集落等とも連携し、奥上林ネイチャーガイド(仮称)の設置や定期的なツアーの開催などが計画されています。



昨年はネイチャーガイドの要請講座も受講

## ■「水源の里自然大学」開講中

あやべ水源の里連絡協議会は京都府立大学と連携し、水源の里4集落を舞台に「水源の里自然大学」を開講しています。6月に第1回を、7月に第2回を開催し、上林小・中一貫校4年生を含む100人以上が参加しました。

素晴らしいとは思いながらも、中々その価値を実感しにくい里山・上林での生活を、参加者とともに住民自身が見つめ直すことを目的に計5回の講義を開催。地域の中で大学の専門知識に触れることのできる貴重な機会となっています。

### 【報告】「水源の里自然大学」で語られたこと

【第3回以降は次回いきいき通信に掲載します】

#### 【第1回水源の里自然大学】 講師:武田 征士 准教授

- ヒメザゼンソウは多くの地域で「絶滅危惧種」。絶滅を防ぐ方策として実態調査やDNA鑑定、栽培法の確立などがある。地元光野の方々と一緒に4年かけこれらに取り組み、一編の論文とすることができた。これは大変な価値あること。
- 皆さんが普段使っているリップクリーム。これは熱帯雨林の木の実の油を原料としている。こういった資源を使うべきでない、ということではなく、それはどの様に作られているか、に考えを巡らしてほしい。
- 地球は数千万種の生物によってできていて、人間はその内の1種。人間の都合だけでは判断できないことがある。小さな努力を大事にして欲しい。食べ過ぎない、ごみを減らすなど。そして、身の回りにいる生物を調べ、知ってもらいたい。知ること、感じる、考えることが変わってくる。



現地視察・講演会に70名以上が参加

#### 【第2回水源の里自然大学】 講師:中尾 史郎 教授

- 私たちが日頃認識している昆虫は、現実の昆虫種のごく一部。ある昆虫がその場所に生息しているのかは、その他の昆虫や生物との相互関係の結果。あらゆる生物の中でも、昆虫が一番正直に「自然」に反応する。
- 自然は人が関与してもなくても変化する。そのため景色や価値観等が均一(画一)であることは「不自然」。意図や目的は「不自然」をもたらすことが多い。そして「不自然」を維持するには、エネルギーが必要。
- 農業や林業は「なりわい」であり、「自然」ではない。しかし、自然のエネルギーを利用した産業。地域ごとに景色が異なるのは、そこに住み自然に働きかける人々の価値観やエネルギーが違うから。これは文化を可視化しているもの。歴史と立地と人の行為との結果として、昆虫相が形成されている。



現地視察では市志生息の昆虫を紹介

## 水源の里・市志のスイセン植えにご協力ください。

平成23年、市志に U ターンされた方々が水源の里・市志の取組を引き継ぎ水源の里・市志活性化事業を立ち上げました。

その際、最初の取組として実施されたのが「スイセン・ヒガンバナの丘」の整備でした。7年目を迎えた今年、4月には咲き終わった花を摘む作業のほか、7月には球根の掘り起こしをし、スイセンの生育をよくするための試みを重ねています。

水源の里・市志の現代表、阪田薫さんは、「スイセン・ヒガンバナの丘をはじめ、しいたけの菌打ち体験や自然学習教室などを通じ、延べ数千人の方々が市志を訪れてくださった。昨年はミツマタの群生地も整備した他、今年も様々な交流イベントを実施している。スイセンが更にきれいに咲くことで、より多くの方々に喜んでいただければ」と、今回のイベントへの期待を寄せています。



毎年丘を白と黄色に染め、市志を訪れる人を喜ばせている。

26日に行うスイセンの球根植えではボランティアを募集中。球根のプレゼントもあります。ぜひご参加ください。

【日時】10月26日(土) ※小雨決行:雨天中止の場合は当日朝 6:30 に決定し、電話で連絡します。

【募集人数】30人(先着順、グループでの参加歓迎)綾部駅からの送迎バスもあります(要申し込み)。

【集合時間】8:45 JR 綾部駅北口集合(送迎バスご利用の方)

9:30 現地集合(自家用車ご利用の方)、受付後、作業開始(14:30 閉会、解散予定)

【持ち物】作業のできる服装、飲み物、タオルなど

【活動協力金】500円(※昼食代、保険料込み、小学生未満は無料)

【締切】10月21日(月)

【問合せ・申し込み先】 水源の里・市志 活性化事業(会長)阪田 薫 TEL.090(7365)9602 FAX. 0773(54)0970

上林いきいきセンター TEL.0773(54)0095 FAX.0773(54)0096

## 空き家を探しています

綾部市では、空き家を貴重な地域資源と考え、賃貸や売却をお考えの物件を提供していただける方を探しています(綾部、中筋地区を除く)。空き家を売却や賃貸し、有効利用をしませんか。

### サポート条件 ※移住を希望される方へのサポート条件

- ★購入もしくは賃借される家を、本拠地として生活していただける方。(別荘としての利用や二地域居住は不可)
- ★自治会に加入していただき、地域行事に積極的にご参加いただける方。

#### ●綾部市の取組

##### 空き家紹介



- 市内の空き家物件を調査し、所有者から承諾をいただいた物件を公開しています。
- 空き家への入居を希望される方に物件を紹介しています。

##### 地域活動支援



- U・I ターン実践者、地域活動実践者(定住希望者)を親切・丁寧にサポートします。
- ・ノウハウを活かし、定住に向けたさまざまな質問・相談に応じます。
- ・地域とのコミュニケーション促進を応援・支援します。

##### 就職支援



##### 就農支援



- ハローワーク綾部、北京都ジョブパーク等の関係機関と連携し、就職を希望される定住希望者をサポートします。

ご相談ください！！

- 伸びた草木が隣家の迷惑になっていないか・・・
  - 田畑の管理を地元の方に任せっぱなしだ・・・
  - 住んでいない家の光熱水費がもったいない・・・
- まずはお電話を



〒623-8501 京都府綾部市若竹町 8 番地の 1  
**あやべ定住サポート総合窓口**  
**TEL. 0773-42-4270**

## イベント情報

### ●第二十二回「洞峠の風にふれあう交流会」

綾部市奥上林と美山町豊郷を結ぶ古道「洞峠」の山頂を徒歩で目指す企画です。今年は下山後、美山側で交流会を行います(希望者のみ)。ぜひご参加ください。綾部側から参加される方は送迎バス(先着19名)があります。詳細はお申込み時、事務局にお問合せください。

【日時】10月20日(日)9:30～(雨天中止)

【内容】・開会式後出発

・登山開始、山頂で昼食

・下山後、交流会(ライブ、お菓子作り)

【持ち物】水筒・雨具・お弁当・登山のできる服装

【参加費】500円(記念品、保険代含む)

【締切】10月15日(火)

【申込先】奥上林公民館 TEL. 0773(55)0001



峠が繋ぐ2地域の交流も22年目を迎えている

### ●中上林で防災イベント開催

近年猛威を振るう自然災害から身を守るため、防災意識向上の機会を設けるべく中上林地域振興協議会は、「中上林の防災を考える会(仮称)」を開催します。

市防災・危機管理課担当者による講演のほか、避難時に提供されるアルファ化米(お湯などを入れるだけですぐに食べられるお米)の試食など、普段中々感じることでできない災害時の経験や体験ができる機会です。

【日時】10月27日(日)14:00～(予定)

【内容】・防災知識を高める講演会

・ミニ訓練(非常食試食)

・音楽を楽しむコーナー

【問合せ先】中上林地域振興協議会(中上林公民館内)

TEL.0773(54)0002

### ●第5回水源の里自然大学

「水源の里自然大学」の最終回となる第5回が上林小・中一貫校にて開催されます。第5回は全体を総括しながら、「森のもつ多面的価値—森を護ることの大切さを考える」と題し、講演があります。ぜひご参加ください。

【日時】11月19日(火)13:00～16:00(予定)

【会場】上林小・中一貫校 【講師】桂 明宏教授

【申込】70人

【締切】11月12日(火)

【申込先】上林いきいきセンター TEL. 0773(54)0095

-講師-



桂 明宏 教授

京都府立大学  
公共政策学部

#### 森のもつ多面的価値—森を護ることの大切さを考える

私たちは、水や酸素など生命の源を森に頼っています。でも、それに対して、私たちは対価を支払いませんよね？

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という水源の里の理念の大切さを、改めて考え直してみましょう。

## いきいきセンターからのお知らせ

### ●府道51号線の通行について

古屋に続く府道51号線で、平成29年による災害の復旧工事が実施されています。現在も継続しており、今年度末まで一般車両の通行が制限される予定です。

許可のない通行は工事の遅れを生じさせることに繋がるため、紅葉の時期の写真撮影などはご遠慮いただきますよう、引き続きのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

FaceBook ページ「あやべ水源の里」

もぜひご覧ください！

→「あやべ水源の里」と検索

